

秋の雨

秋雨（あきさめ）の時期である9月と10月は年間で最も雨が多くなっています。梅雨の時と同じように、季節の変わり目であるため、前線が停滞することがあるためですが、秋雨前線はそれほど長い間停滞することはなく、梅雨のように毎日がぐずついた天気が続くわけではありません。では、どうして降水量が多いのでしょうか。それは、台風の影響が一番多い季節であるからといえます。

台風は、太平洋高気圧の縁を回るように進むことが多いです。夏の間は、日本付近は太平洋高気圧に覆われるため、台風が近づいてくるとは少ないですが、9月に入ると、徐々に太平洋高気圧の勢力が弱まり、日本付近が高気圧の縁となってきます。このため、台風が日本付近を通過することが多くなります。なお、9月は関東地方に台風が接近する回数が年間で最も多くなっています。

昭和27年の観測開始からの1日の最大降水量の記録をみると、上位10位までのうち9月と10月は5回と半分を占めており、そのうちの4回は台風の影響となっています。

台風の雨は、台風本体の雨雲がかかる場合と、台風から離れていても、湿った空気が送り込まれることにより、雨雲が発達する場合があります。日立市では、梅雨の時期よりも秋雨の時期のほうが、強い雨が降ることが多くなっています。

昔から「二百十日」といって立春から数えて210日目の項は、台風などで暴風が吹きやすい日といわれています。統計的には必ずしも暴風が吹く日ではありませんが、この頃は台風などが

接近することも多くなるため、注意が必要なシーズンが始まる目安とも言えます。

今年の秋の気候は

気象庁の長期予報によりますと、関東地方の気温は平年より高く、降水量は平年並みか少ない見込みです。

平年の値（日立市役所）

項目	9月	10月	11月
平均気温（℃）	21.8	16.8	11.9
降水量（mm）	178.8	173.3	78.3
日照時間（時間）	134.3	151.2	157.9
平均湿度（%）	80	74	67

平年値（1981～2010年の30年間の平均）

【9月から11月の1953年からの極値の記録】

○日最大1時間降水量

88.0mm（1999年10月27日21時14分）

過去の気象の特徴は月ごとにホームページに掲載しています。

生活安全課と共同運用の「日立市の防災と天気」Facebook ページと Twitter もご利用ください。

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。